



2025年12月15日

各 位

会 社 名 株式会社 D & M カンパニー  
代表者名 代表取締役社長 松下明義  
(コード番号: 189A 東証グロース市場)  
問合わせ先 取締役管理部長 南浦佳孝  
兼経営企画部長  
TEL. 06-6456-7036

### 投資資産残高（連結）に関するお知らせ（2025年11月）

当社は、ステークホルダーへの情報提供の迅速化および強化を図るため、重視する経営指標のひとつである投資資産残高について、月次で公表することとしております。

【投資資産残高推移】 (単位: 百万円)

	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月
買取債権	6,594	6,703	7,342	7,713	7,303	7,441
リース債権及びリース投資資産	119	116	112	109	106	103
営業貸付金	487	485	483	481	579	777
<b>投資資産残高 合計</b>	<b>7,201</b>	<b>7,304</b>	<b>7,939</b>	<b>8,304</b>	<b>7,989</b>	<b>8,321</b>
診療・介護報酬債権買取社数	65社	66社	72社	76社	75社	78社

	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月
買取債権	7,591	7,568	7,899	8,176	8,216	8,287
リース債権及びリース投資資産	100	97	95	94	91	89
営業貸付金	650	647	645	393	494	642
<b>投資資産残高 合計</b>	<b>8,341</b>	<b>8,314</b>	<b>8,640</b>	<b>8,664</b>	<b>8,802</b>	<b>9,019</b>
診療・介護報酬債権買取社数	81社	81社	83社	86社	92社	98社

※監査法人による監査を受けていない速報値であり、今後修正する可能性があります。

### 【2026年5月期の投資資産残高推移について】

2025年11月は、新規6社と取引を開始し、買取債権は71百万円、営業貸付金が147百万円増加し、投資資産残高合計で前月末より216百万円増加しております。当上半期は、独立行政法人福祉医療機構による福祉施設・医療関係施設等に対する物価高騰対応のための融資が積極的に行われた結果、買取債権が846百万円増、投資資産残高

合計で 697 百万円増に留まりました。なお、足元の案件取組状況を踏まえると、下半期は、上半期を上回るペースで投資資産残高が増加する見通しです。2025 年 12 月は年末要因等により増加が限定的となる可能性があるものの、2026 年 1 月以降は既存取引先の利用拡大に加え、新規案件の実行が順次見込まれることから、投資資産残高は堅調な増勢となることを想定しております。なお、各月の増減は、取引先の資金需要や審査・実行時期等により変動する可能性があります。

#### 【投資資産残高を重視する理由】

当社グループは、医療・介護事業者に対し、経営支援を目的に複数のサービスを組み合わせて提供しています。なかでも、F & I（ファイナンス&インベストメント）サービスは、他のサービスを支える基盤であると同時に、2025 年 5 月期では連結売上高に占める割合が 50.1%、売上総利益率が 68.9% と高水準であることからも、事業全体の成長に不可欠なサービスです。また、F & I サービスの売上の大半は、診療・介護報酬債権の買取による手数料収入であり、買取債権額に一定の料率を乗じて売上が計上されます。そのため、当社では事業拡大を測る指標として、診療・介護報酬債権を含む投資資産残高を重視しています。

※2025 年 12 月末時点での投資資産残高の速報は、2026 年 1 月 13 日（火）を予定しております。

以上